

個人質問

34人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

全員の個人質問は市議会ホームページのインターネット議会中継で配信しています。

まちづくり・暮らし Community Planning Life

地域の未来づくり計画 作成支援に専門家を派遣

問 「地域の未来づくり推進事業補助金」の申請には「地域の未来づくり計画」の認定が必要だが、地域で計画を作成するのはハードルが高い印象を受ける。アイデアを計画にまとめる支援策が必要では。

答 本市職員だけでなく、NPO法人や中小企業診断士などの専門家を地域の話し合いの場に派遣し、実情等を聞きながら、計画の検討段階に応じた個別の支援を行っていく。

平成30年7月以降は、計画に記載する内容の助言等を行うワークショップを引き続き各区で開催するとともに、地域おこしのスペシャリストを招く講演会や、実践的なコミュニティビジネス起業入門セミナーも順次開催する予定。



北区でのワークショップの様子

LRT開業は10年後を目安に

問 桃太郎線（吉備線）のLRT化合意を受けた今、開業までのロードマップ（計画案）をどのように考えているのか。

答 まず本市、総社市、JR西日本の三者で連携し、また、地

域と丁寧な議論を繰り返しながら基本計画をまとめていきたい。

その後、事業化に向けては、都市計画決定、環境影響評価、軌道法に基づく特許の取得等の手続きがある。事業化後は、用地買収、駅やアクセス道路の整備と全線での電化などを行うことになり、ある程度の時間を要すことから、あくまで目安だが開業までに10年という期間を考えている。

ごみ処理施設の建設候補地を 総合的に検討

問 本市と玉野市、久米南町でごみ処理広域化計画が進められているが、ごみ処理施設の建設候補地の選定にあたり、特に留意する点は何か。

答 候補地の選定は、岡山市環境政策審議会の議論を踏まえながら進めている。地形条件、周辺条件、収集・運搬の効率、災害に対する安全性などに加え、建設費、維持管理費、収集運搬費などの経済性も重視しながら総合的に検討していきたい。

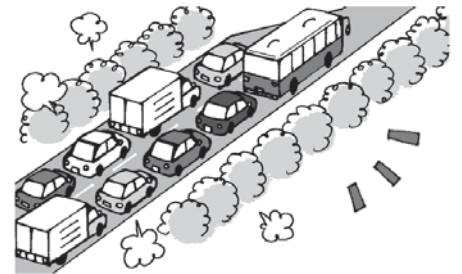
白石橋を含む拡幅工事に着手

問 県道岡山倉敷線の笹ヶ瀬川に架かる白石橋～北区久米までを4車線化する予定は、現在どうなっているのか。

答 白石橋～北区久米の約1,100メートルの区間は、車道を4車線、幅員を27メートルにすることで都市計画決定されているが、現状は2車線の暫定供用で、

交通混雑が生じている。まずはその対策として、平成30年度から白石橋を含む約270メートルの区間の拡幅工事に着手する。

道路整備の事業化にあたっては、事業の必要性や効果、内容の妥当性や他路線の進捗状況等を勘案して評価を行っており、白石橋以西は、工事の進捗状況を見ながら事業化を検討する。



空き家に付随した農地取得の 要件緩和を検討・協議

問 空き家や未耕作地の増加、後継者不足の状況を考えると、「農地付き空き家」を提供する事業などを実施し、移住者を呼び込む必要があるのではないか。

答 耕作を目的とした農地の取得には、下限面積や、取得後一定の農業経営を行うなどの条件があるが、本市では新規就農の促進や遊休農地の解消を図るべき地域などは、下限面積の制限を緩和している。

農地付き空き家は、移住・定住の促進とともに、遊休農地の防止や解消の観点からも重要と考えている。取り組みにあたっては、市街化調整区域での規制や、下限面積をどの程度緩和するかが課題だが、関係部局と連携しながら、空き家に付随した農地取得の許可要件の緩和に向け、検討・協議を進めている。

◆用語解説 ※2【プログラミング教育】

コンピューターに動きを指示するために使われるプログラムを学ぶ教育。技術を学ぶだけでなく、自分が求めることを実現するために必要な動作や記号を考え、組み合わせながら改善することができるような論理的思考力を育むもの

◆用語解説 ※3【SDGs未来都市】

自治体によるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた優れた取り組みを提案する都市。内閣府が本市を含めた29都市を選定

教育・福祉

Education Welfare

ICTの活用や^{※2}プログラミング教育への準備を開始

問 小・中学校では情報活用能力等を重視する新学習指導要領への移行期間に入った。

①策定を予定している「教育の情報化基本方針」の進捗状況は。
②平成32年(2020年)度から小学校で必修化されるプログラミング教育に、どのように取り組むのか。

答 ①育成したい、児童・生徒の情報活用能力や、授業でのICTの効果的な活用方針が固まりつつある。現在、学校で必要なICT機器の調査・研究を進めており、30年度中に基本方針を策定する。

②30年度から、教員対象の研修を実施予定。また、参考となる指導事例をリーフレットにまとめ、周知し、教員の指導力の向上を図っていく。



AI(人工知能)を活用した生活習慣病対策

問 平成30年6月に「誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまちおかやまの推進」の提案で、本市は^{※3}SDGs未来都市に選定された。今後の健康づくりとSDGsの推進体制の考えや決意は。

答 生活習慣病対策として、個々の健診データなどをAIで解析し、将来の疾病リスクを示すこと、効果的な生活習慣改善メニューを明らかにすること等

を可能とする、健康見える化事業を進める。

また、市長を本部長とする推進本部を立ち上げ、今後、SDGsの17の目標を議論し、取り上げていければと考えている。



主権者教育出前授業の様子

^{※4}WASAOLER(ワサオレター)で

若年層へ選挙啓発

問 平成31年春の統一地方選挙まで1年を切った。若年層への選挙啓発はさまざまな取り組みを行っているが、30年度はどのような事業を考えているのか。

答 大学生等が高校に出向いて行う主権者教育出前授業や高校生の意見を行政に届ける「WASAOLER」で、政治に関心を持ってもらう企画を予定している。

また、中学校教員の社会科教育研究会への呼びかけや、幼稚園・保育園・こども園の保護者へのパンフレット送付など、保護者や教職員を巻き込んだ啓発活動にも取り組んでいきたい。

強い思いで児童虐待に対応

問 東京都目黒区で子どもの虐待死事件が起きた。二度と起きないようにするのが我々の務めと考えるが、本市の認識はどうか。

答 今回の事件を受けて、こども総合相談所に対し、虐待リスクの高いケースの再点検と、警察・学校・病院等の連携の強化など、事件を起こさないための対策の検討を指示した。

今後も、行政としてやるべきことはやっていくとの強い思いで児童虐待に対応していきたい。

A型事業所の経営改善を支援

問 事業で障がい者の賃金を賄えない就労継続支援A型事業所は経営改善計画の提出が必要となった。平成29年度の実績では市内の約8割の事業所が該当するが、経営改善計画の達成に向けて本市はどう対応するのか。

答 実地指導で計画の達成度等を確認して指導している。

また、経営改善セミナーへの参加を呼びかけるなどの情報提供を行うとともに、民間の各種小売店等のバイヤーとの商談会を実施し、商品改良や販路拡大などを支援していく。

ひきこもりの相談支援体制づくりを進める

問 複合的な課題の一つに深刻化、長期化、高齢化するひきこもりがある。岡山市ひきこもり地域支援センターの実績と本市の課題は。

答 平成29年度に相談支援した実人数は242人で、約半数が30歳未満だが、40歳代や50歳代の対象者もいる。ひきこもりの対応実人数は、5年間で約2倍に増加しており、対象者の高齢化などへの対応が課題と考えている。

今後、生活課題がますます複雑化すると想定されるため、地域共生社会推進計画で総合的な相談支援体制づくりを進めていきたい。

◆用語解説 ※4【WASAOLER】

「若者の参画する街岡山」を目指すNPO法人YouthCreate(岡山市市民協働推進モデル事業の提案団体)の取り組み。高校生と大学生が関心のあるテーマを調べて「レター」の原案を作成し、高校や大学に配布し意見を募る。その意見を反映した「レター」を行政に届け、行政の回答を反映した「レター」を再び高校、大学に配布する双方向型のやりとり

観光・産業

Tourism
Industry

日本遺産の認定を受け「桃太郎のまち 岡山」を全国に発信

問 「『桃太郎伝説』の生まれたまち おかやま～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～」のストーリーが日本遺産に認定されたが、期待する点と今後の展望は。また、設置予定の推進協議会はどのようなものか。

答 都市ブランドの向上を目指す本市にとって、「桃太郎のまち 岡山」を全国に発信する機会と期待しており、さらなる情報発信を行う。

推進協議会は、日本遺産としての認知度向上や観光客誘致を図るとともに、地域住民の郷土愛や誇りを育むことを目的としている。行政、商工会、観光協会や観光関連の民間団体、日本遺産の文化財で構成し、平成30年6月に設立したい。

ロケ誘致活動で地域を活性化

問 多くの自治体が※⁵フィルムコミッション活動を行っているが、本市の取り組みと実績、ロケ支援策は。

答 岡山県フィルムコミッション連絡協議会に参画し、積極的にロケ地素材を提供している。近年では全国公開の映画のロケが相次いで行われ、平成29年度のロケ実績は10件。

ロケの誘致は経済効果が期待されるほか情報発信につながり、誘客効果も見込め、観光施策として有効と考えている。本市では、市内の撮影場所の紹介や撮影交渉、市有施設の使用許可に関する支援を行っており、撮影関係者からはスムーズな撮影が行えると評価をもらっている。

◆用語解説 ※ 5【フィルムコミッション活動】

映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための活動



一般利用が可能になる岡山城天守閣

岡山城天守閣と芝生広場の一体管理で利用者ニーズに対応

問 平成30年7月から天守閣の一般利用が可能になるが、予約状況は。また、魅力が上がる運用方法や、管理が別々となっている天守閣前広場との一体管理をどう考えているか。

答 6月18日現在の予約件数は28件で、関東や関西方面からも申し込みや問い合わせがある。ウェブサイトでは料理の提供ができる事業者を紹介しており、今後は郷土芸能やアトラクション等の演出も利用者にわかりやすく情報提供できるよう、随時更新を行い充実させていきたい。

また、利用者のニーズに柔軟に対応できるよう、31年度からの天守閣と天守閣前広場の一体管理に向け、協議していく。

森林管理に新制度

問 国は平成31年度から、森林整備等を行う市町村に※⁶森林環境譲与税（仮称）の譲与を開始するが、見込額はいくらか。また、併せて施行される※⁷新たな森林経営管理制度に向け、具体的な事業等の対応を検討すべきでは。

答 国の譲与基準に従った試算では、31年度の本市への譲与額は3,500万円程度と見込んでいる。

◆用語解説 ※ 6【森林環境譲与税(仮称)】

間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備などの費用を用途に、国から市町村や都道府県に譲与される税

◆用語解説 ※ 7【新たな森林経営管理制度】

林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図るため、森林管理の責務を明確化するとともに、市町村が森林管理の委託を受け、意欲と能力のある林業経営者につなぐなど林業経営の集積・集約化を進める制度

新制度の開始に向けて、30年2月以降、県内の市町村職員を対象とした説明会等が行われており、情報収集や意見交換に努めている。今後、国等が示す具体的な内容をもとに、森林所有者への経営管理の意向調査、経営管理権集積計画の作成や、それ以外でどのような活用が可能か検討していきたい。

セミナーカリキュラムの内容を見直し女性の起業を支援

問 本市が実施している起業支援施策はどのような事業で、こういった成果を上げているか。また、女性に対する支援は行っているか。

答 起業家塾及び創業・起業セミナーのほか、創業者支援事業補助金や創業者向け融資制度等の支援を行っている。平成29年度は、起業家塾では女性2人を含む5人が創業し、創業者支援事業補助金により女性7人を含む19人が創業した。また、本市や市内創業支援機関で構築するおかやま創業ネットワークでは、128人の女性を含む614人の創業を支援した。

女性には、託児サービスを設けた創業セミナーを実施しているが、さらに参加しやすいようにセミナーカリキュラムの内容を見直すなど、引き続き支援を行ってきたい。



起業家塾の講義に熱心に聞き入る受講生